

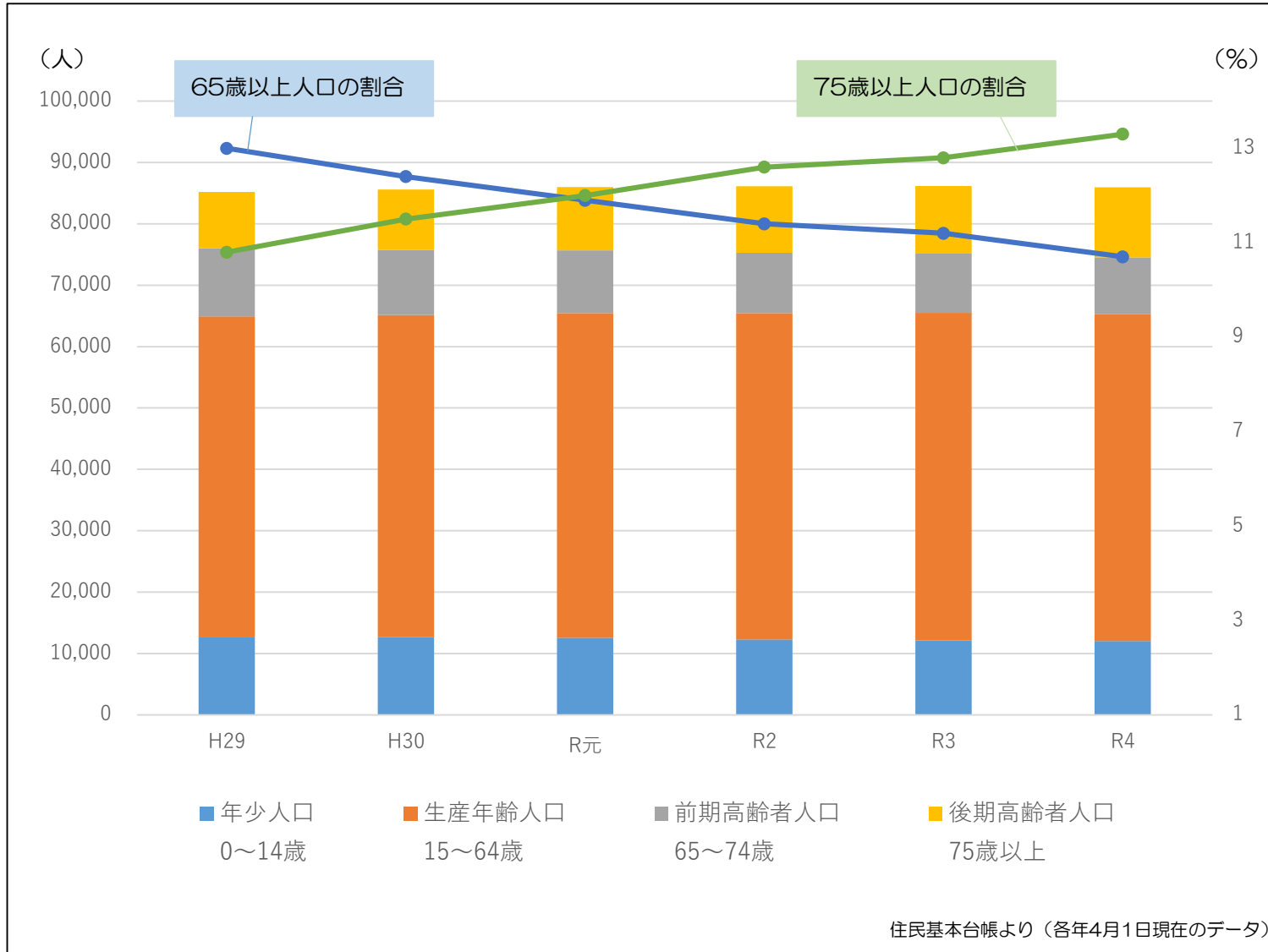
訪問型短期集中予防サービス
リハビリテーション専門職
訪問事業について

北名古屋市役所 高齢福祉課 地域包括ケア推進室
酒井 貴久子

1. 北名古屋市の高齢者の現状 (令和5年7月1日現在)

人口	86,217人
高齢者数	20,567人
前期高齢者	8,414人
後期高齢者	12,153人
高齢化率	23.85%

北名古屋市の年齢区分別人口の推移



《現状》

- ・高齢化率は年々緩やかに増加傾向。（R3年度 24.0%）
- ・要介護、要支援者認定者数及び介護保険サービス受給者も増加している。
- ・後期高齢者医療の被保険者（75歳以上）は年々増加。

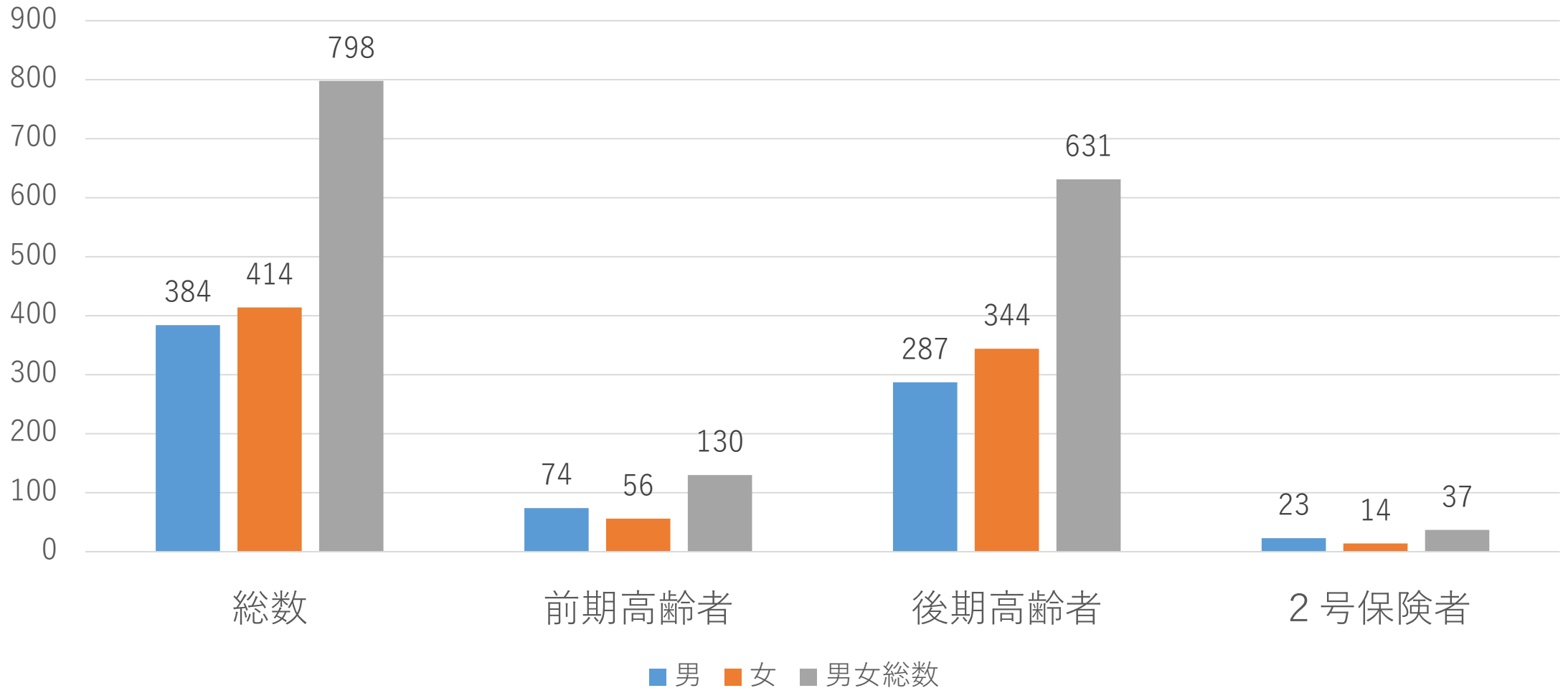


《今後の予測》

- ・団塊の世代が75歳以上の後期高齢期を迎え、**今後も後期高齢者が増加する。**



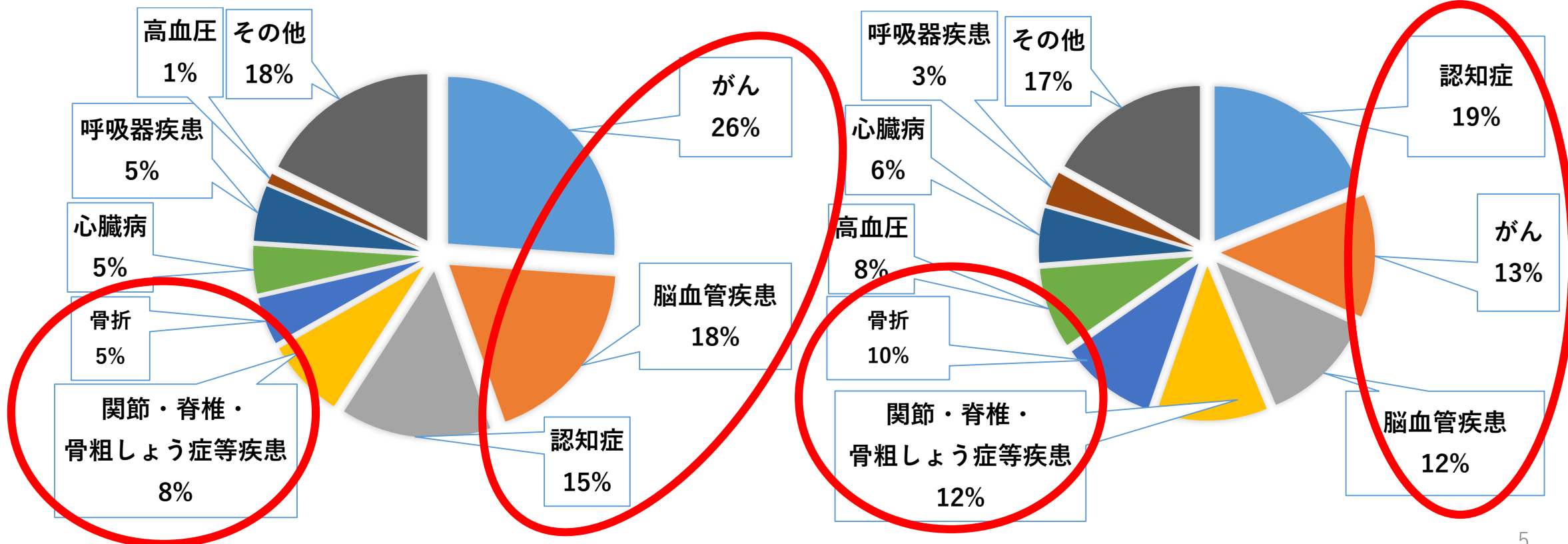
令和3年度 北名古屋市新規介護認定者数



令和3年度北名古屋市の介護保険認定原因

前期高齢者（65～74歳）（全体）

後期高齢者（75歳以上）（全体）



介護予防・日常生活支援総合事業の推移 (抜粋)

平成28年	介護予防・日常生活支援総合事業開始
平成30年	基準緩和型サービスの目安作成
平成31年	市民主体型訪問サービス開始
令和3年	基準緩和型サービスの目安改変 基準緩和型通所サービスの判定見直し

コロナ禍における高齢者の地域課題

歩いて行ける通いの場、運動教室が少ない

外出を控える傾向があり、フレイルになっている可能性がある。

介護保険における課題と地域課題

介護認定の原因疾患の骨折・関節疾患への対策が必要

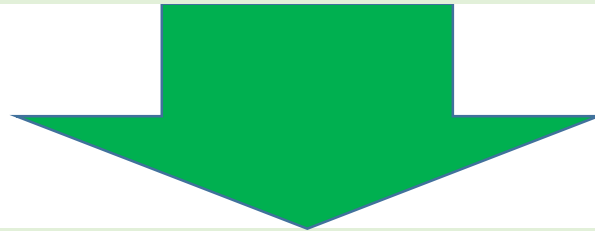
総合事業の卒業を目指しても高齢者自身が継続利用を希望すると卒業しにくい

コロナ禍において地域のつながりが減少
高齢者が外出を控える傾向にある

フレイル予防の取り組み

高齢者自身の意識改革

介護保険を利用する前の段階での対策が必要



リハビリテーション専門職から、リエイブルメントの視点でアドバイスをもらう！

リハビリテーション専門職訪問事業

事業の目的



理学療法士
作業療法士
が
アドバイス



有する能力を最大限に引き出す
自宅で自立した生活を送る

本人の目指す姿・目標

再びできるようになる
(リエイブルメント)



弱らない生活をおくる
ためのポイントを発見
する。

生活をセルフマネジメント
できるようになる。



事業の対象者

①事業対象者または、
要支援1・2の方

③医療保険におけるリハビリ
テーションを受けていない方

②介護保険の
訪問型サービス
通所型サービス
を利用していない
方



④当事業の利用に
よる効果が見込ま
れる方

⑤過去にリハビリ
テーション専門職
訪問事業を利用し
ていない方

事業の実施者

①北名古屋市リハビリテーション
連絡会に所属する事業所

②北名古屋市内の事業所

委託した事業所の理学療法士・
作業療法士にお願いします。



事業の内容

理学療法士・作業療法士が高齢者の自宅を訪問

運動機能（筋力、
バランス能力等）
動作能力を確認

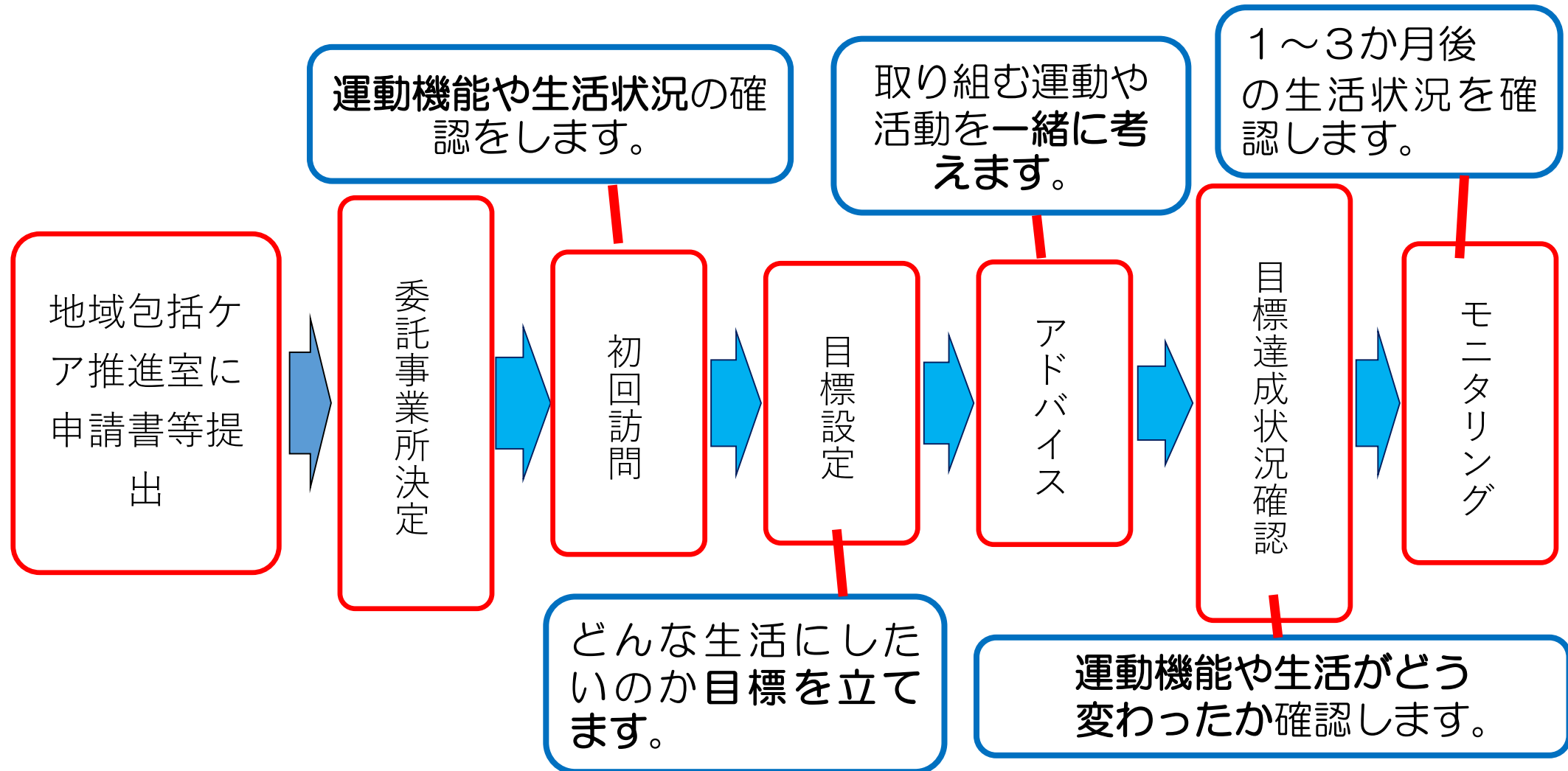
目標
を立てる

家での動きや生活の工夫、
外出方法、取り組む運動、
活動等を提案

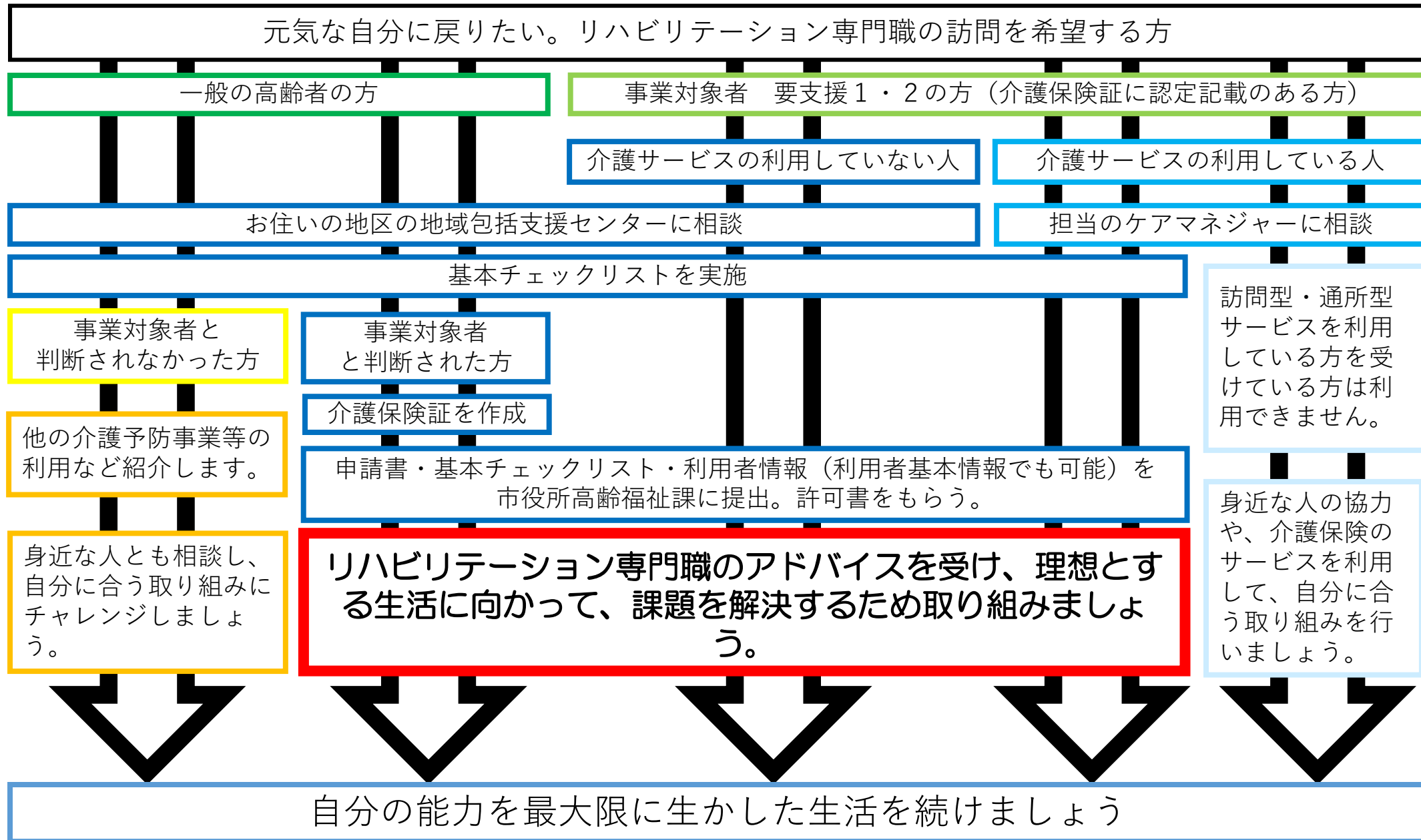
施術や治療は行いません

月2回程度の最大8回・期間は3～6か月

事業の流れ

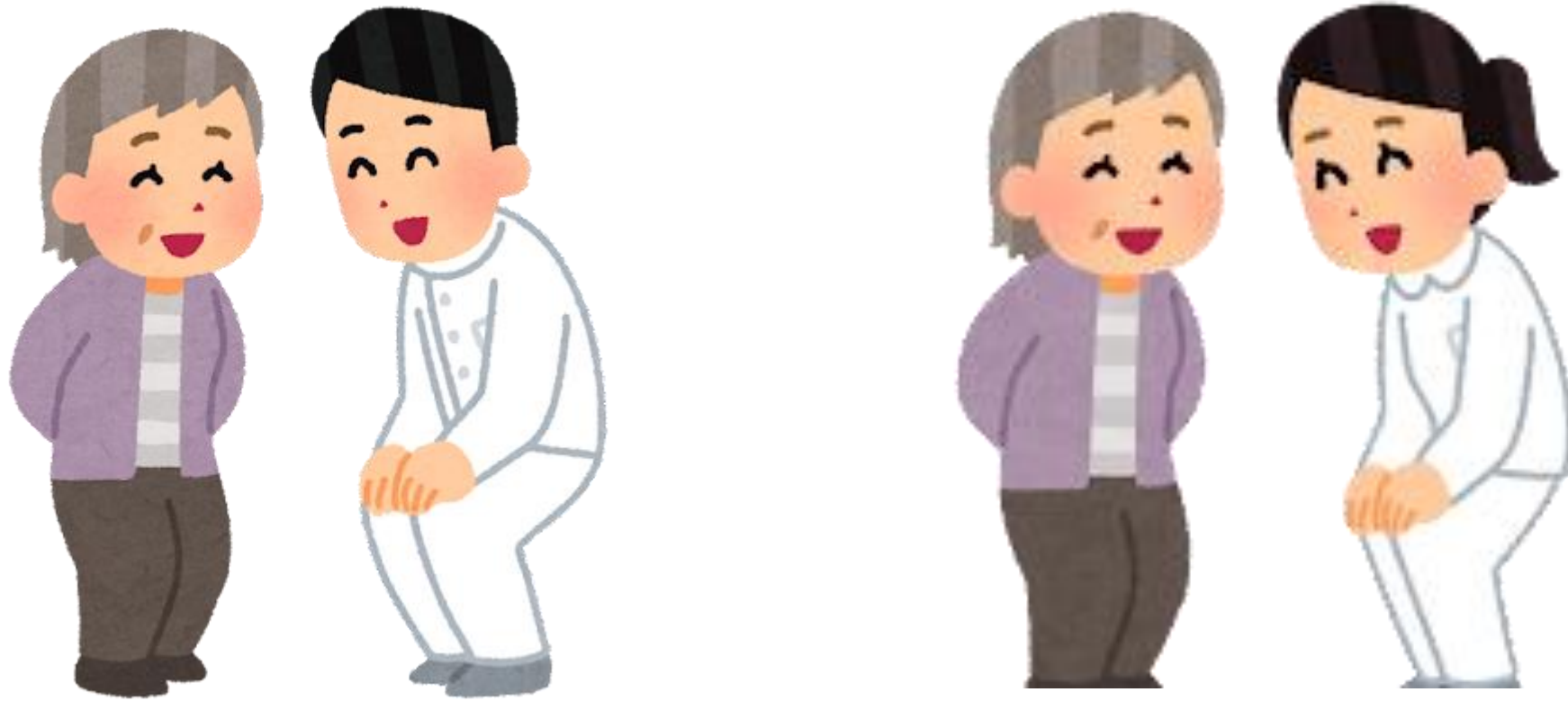


リハビリテーション専門職訪問事業 利用開始までの流れ



医療保険におけるリハビリテーション専門職訪問事業を利用している方は、過去にリハビリテーション専門職訪問事業を受けた方は利用できません。

高齢者と一緒に目標を立てる



事業の方向性

フレイル予防のための
運動・活動をする

通いの場の利用や
地域資源を活用



目標達成



通所系サービスに行きたくない人が自立に向けての取り組みを行うための選択肢の一つとなる。

想定される対象者

1人暮らし女性 75歳

既往歴に、腰椎圧迫骨折あり。

重いものが持てず買い物では、福祉車を活用している。

加齢に伴い閉じこもりがちで、屋内でつまづくことが増えている。

自分でできることから取り組んで解決できないか検討したい。

事例 1



「いつまでも自分で買い物に行きたい」という希望を確認。

自宅で行えそうな簡単な運動や、生活での工夫、楽しみながら活動できる通いの場を見つけその場所に行くための工夫や取り組みをアドバイスした。

想定される対象者 事例 2



高齢者夫婦世帯 男性 75歳

脊柱管狭窄症により、軽度の筋力低下やしびれが上下肢にある。

生活が自立しているため、手術などの治療が必要な状況ではない。

運転免許を返納し、家に閉じこもりがちになった。デイサービスに行くことに抵抗があり拒否している。

具体的な運動指導を行う。

自宅で取り組み、日常生活での工夫のほか、ラジオ体操や地域の活動など本人に合うものを提案した。

少しずつ歩行が安定し、外出できるようになった。

ご清聴
ありがとうございました

